

～産業保健現場の今日的課題を考える～

『人事担当者の視点から 見えてくるもの』

◆話題提供者：・西村英一氏 ・岸 託男氏

◆日 時：2017年11月18日（土）14時～17時15分

◆場 所：サムティフェイム新大阪 9階 ホール3

大阪市淀川区西中島6-5-3 TEL06-6885-9000

（地下鉄御堂筋線『西中島南方駅』、阪急京都線『南方駅』徒歩5分、JR『新大阪駅』徒歩10分）

※2単位申請中

今回は、人事部門を担当されたお二人から、それぞれ経験談や現状の報告をいただきパネルディスカッションを開催します。

西村氏からは、最近の若手社員の育成課題や人材育成・面談施策、採用の課題、産業保健スタッフとの連携等の報告を、岸氏からは、事業場内産業保健スタッフとして、働く人のためのトータルサポートをモットーに年間200名以上の社内個人面談を通じて個人や組織への心理的・組織的アプローチをしてこられた経験からの報告をいただく予定です。

産業保健現場で活動する心理相談員にとって、経営サイドや人事サイドからの視点を学ぶことは、組織の中での自らの立ち位置の確認や、より連携したネットワークづくりに大切なことです。お二人の貴重な報告と参加者の方々との意見交換もしながら、産業保健の今日的な課題を皆さんと共に考えていきたいと思います。この機会に是非ご参加ください。

【話題提供者プロフィール】

◇西村英一氏 1993年株式会社インダ入社。現在、総務人事部人事課人材開発担当係長として、教育研修や人事企画、採用などに従事。産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、ファイナンシャル・プランニング技能士3級。

◇岸託男氏 1980年繊維専門商社へ入社。営業現場にて29年従事。50歳を過ぎて人事部門へ異動し、それまで手つかずであったメンタルヘルス対策、社員教育・研修、人事制度などへ着手する。退職後独立し、現在人事労務コンサルタントTKサポート代表。心理相談員、産業カウンセラー、CDA、キャリアコンサルティング技能士2級、年金アドバイザー3級、障害者職業生活相談員、日本森田療法学会会員。